

業務部速報





No. 55

発行 23. 2. 1

JR東労組 業務部

「2023年度新幹線総合車両センター業務計画について」提案を受ける！～議論ポイント～②

 《組合》	今施策について	《会社》	
今回の業務見直しに伴う要員効果および、出向はあるのか。		軸箱検修作業は3名である。委託先からJRへ、JRから委託先への出向は今のところ考えていない。	
交番検査の持ち替えはいつからか。		4月1日から持ち替えで、3月まで準備する。	
E2系を新潟で施工するメリットは何か。		新潟新幹線車両センターには、都度回送する。全体的に1日1編成の交番検査を基本とし、新幹線ネットワーク全体として見れば効率的である。	
全体数が、一般で減少している要因は何か。		台車検査が76両減少しており、E2系の交番検査施行などにより減少している。	
E8系の検査体制について、新幹線総合車両センターでの教育体制はどうか。		E8系は新車を組成して最初は新幹線総合車両センターで施工する。基本交番検査は山形新幹線車両センターになる。教育体制はしっかりとっていく。	
中間整備の全般清掃・フィルター清掃などいつ実施するのか。		現在各車両センターより集約して整理している。	
交番検査を1日1編成としているが、休日出勤はあるのか。		計画的に実施していく。出勤は検討中である。	
計画科の台車検査の試運転について、当初は新型コロナウイルス感染症対策が目的だった。しかし、いつから方向性が変わったのか。		基本的に目的は変わっていない。社員の多能化も含めて4月1日から行っていく。業務は計画的に進めて行く。	



その他の議論



（来年度の新入社員について）

最終調整する頃である。各支社から採用をして、情報が来ている所、調整している所がある。全体の人数が減っているので、昨年ほどの人数は来ない。配置はゼロではない。

（ミライの車両S&E構想について）

生産ラインの検討について構想をいただき、外部のコンサルタントに実現可能か見ていただいた。今後は、具体的に必要があるので、グループ会社、モビリティサービス部門、東北建設プロジェクトマネジメントオフィスも交えて進めていく。適宜情報は共有する。

（非稼働日について）

来年度については実施予定はない。効果としては、車両修繕費・動力費等の経費削減、社員の知識・技能向上に効果があった。

（つばさの滑走の事象に対して）

原因がまだはっきりしていないので、出せる情報がない。目立った異常がないので、今後試運転を行って同じ状況が出るのか見ていく。結果を待って対策を検討する。

組合員の声を反映させ「安全・健康・ゆとり」ある職場をつくり出そう!